

大平議席奪還へ 比例候補に住寄さん発表

日本共産党は9月23日、次期総選挙に向けた衆議院比例代表予定候補（第5次分）として中国ブロックから住寄聡美氏を発表しました。

住寄さんは教員出身で、岡山県常任委員・青年学生部長として「コロナ禍での学生支援活動」や「20人学級実現の取り組み」などの先頭に立っています。

住寄さんは「岡山市・倉敷市を中心に市民と野党の共闘の発展と日本共産党の躍進、とりわけ大平さんの議席奪還へ比例候補として全力を挙げる」と決意を語っています。



防府市 井上哲士・参院国対委員長を迎えて250人

大平さん「自公の一角を崩して何としても国会へ」



9月27日、山口県防府市で井上哲士参議院議員・参院国対委員長を迎えての演説会が開催されました。演説会はコロナ対策で「密」避けるため第2会場を設け250人が参加しました。（写真）

演説会は11月に行われる防府市議選の二人の候補者が挨拶。続いて、大平喜信前衆議院議員が「女性はいくらでもウソをつく」発言の杉田水脈衆議院議員が、比例中国ブロック選出であることを紹介しながら、自民党の議席はジェンダー逆行・女性差別の一議席です。何としてもジェンダー平等の日本共産党の1議席を」と訴えました。大平さんのこの訴えには大きな拍手が沸き起こりました。

各地でコロナ禍の学生支援活動広がる

全国でも中国地方の各県でも民青同盟が中心となって「コロナ禍の学生向け食料プロジェクト」が取り組まれています。（写真は、岡山の「きぼう市」）

同時に行ったアンケートでは「本当に助かります」というお礼の気持ちとともに「アルバイト先の時短営業で食費が厳しい」「アルバイトが見つからない」などの深刻な声が寄せられ、民青では次回の取り組みも始まっています。

